

なごみ農地利用最適化推進運動

農委会名：和水町農業委員会

1 地域の概要

和水町は、熊本県の北西部にあり、福岡県との県境に位置する。南北約19 Km、東西約9 Km、面積98.75 km²の中山間地帯である。

山間部では、みかん、ブドウ等の経営が行われ、平坦部では、主作物である水稻の他、スイカ、いちご、ナス等の施設園芸が盛んである。

しかし、本町では農業者の高齢化が進んでおり、担い手不足による遊休農地の増加などの課題もあり、今後、農地の集積や集約など農地の有効な利活用について協議していく必要がある。

2 農業委員会の体制

- (1) 農業委員数 11人（うち、認定4人、女性2人）
- (2) 推進委員数 17人（うち、認定4人、女性1人）
- (3) 事務局体制 3人（うち専任2人、会計年度任用職員1人）

3 掲げた目標

- (1) 地域計画における目標地図の作成及び校区説明会
- (2) 優良事例の収集

4 目標達成に向けた取組み（運動）の内容

- (1) 地域計画における目標地図の作成及び校区説明会

本町では、令和6年度末の地域計画策定に向けて、九つの校区で説明会をそれぞれ2回実施し、協議の場において、意見や課題等を集約し、地域計画の素案地図及び目標地図の作成を行った。



【第1回目協議の様子】



【第2回目協議の様子】

- (2) 優良事例の収集

令和6年8月に改選があり、新体制となったため、委員の資質向上のため佐賀県神埼市への先進地視察研修を実施した。



【佐賀県神崎市農業委員会研修の様子】

5 取組みの成果

(1) 地域計画における目標地図の作成及び校区説明会

協議の場において、1回目の会合で地域計画の概要説明、計画エリア内の現状把握を行い、2回目の会合では、1回目の会合で出された意見をもとに作成した目標地図の素案を確認しながら、改めて地域の課題や将来の地域像について意見交換を行った。

地域によって様々な課題があり、担い手不足や有害鳥獣等の被害増加など多くの課題が確認できたが、参加者の協力のおかげで、九つの校区で目標地図の作成を進めることができた。

(2) 優良事例の収集

視察研修を通じ、最適化活動の状況や遊休農地対策など意見交換を行い委員の知識向上に繋がった。

6 課題と今後の方針等

地域計画において、参加者が地域によっては少ない地域もあったため、将来の耕作者が不透明な状況となり、現況の地図と目標地図がイコールになる地域が多かった。

地域計画については、今後細かな集落ごとの説明会開催や意向調査等を行い、和水町の将来の農業のあり方を見据えた計画のブラッシュアップを行い、地域の農業を将来担う人が、より耕作しやすいようにしていく必要がある。